



ちょっとかすんでいるだけで、ずいぶん見つけやすさが変わります。手ごわいな、という感想を得て、この日は撤退。

3月14日(木)

前日雨が降って、空気もきれいになったところで、またもや大阪城へ。11日と同じく10×50の双眼鏡で探します。11日には18:25頃に見つけることができたのに、この日は18:30になっても見つけられませんが、「ちゃんと晴れているのに、見つからないのか?」と焦り始めたころ、18:35頃に無事発見できました。11日より空の高い位置に移動してきていたのですが、空の低いところ探しすぎていて発見が遅れたようです。見つけてしまえば、11日よりも見えやすい印象です。とは言っても、やはり肉眼では見えず。

3月15日(金)

この日は仕事が休みだったので、大阪城へは行かず、自宅マンションの階段の踊り場から彗星を探しました。13日の雨からほぼ丸2日経っているので少し空気が白っぽくなってきていて、12日の敗北が思い出されます。

それでも、夕方日が暮れてみると、双眼鏡で探したら、無事に見つけることができました。写真を撮ってみると、背景の夕焼けの色がくすんでいて、やはりもやがかかっていることが分かります。家から9cmの望遠鏡を出してきて、50倍くらいまで拡大して見てみました。

しっぽの片側の輪郭がくっきりしていて、反対側の輪郭がぼんやりしていて、なかなかにおもしろい姿です。が、スケッチを描こうとしたところで、低空のもやの向こうへ消えていってしまいました。残念。



撮影時刻:2013年3月15日19:00
露出:2秒 撮影地:大阪府枚方市



撮影できた3日の彗星像の比較。彗星部分を切り出して、コントラスト等を調整。

飯山青海(科学館学芸員)